

平成28年の相模原市の自殺統計について

神奈川県警察本部から平成28年における自殺の状況のデータ提供を受け、市内で発生した自殺の状況をまとめましたのでお知らせします。

なお、今回の自殺統計は、相模原市自殺対策協議会での審議及び自殺総合対策において活用していきます。

本市の状況

平成28年における市内の自殺者数は、前年から30人減少し、92人となっている。

年代別では、50歳代が最も多い。

性別では、男性が66.3%を占め、20歳代から50歳代及び70歳代では、男性が60%以上を占めている。

職業別では、主婦や学生を含む無職者が60.9%と最も多い。

原因・動機別では不詳を除くと、健康問題が最も多く、次いで家庭問題、経済・生活問題の順となっている。

自殺者の16.3%に自殺未遂歴がある。

問合せ先

精神保健福祉センター

電話 042 769-9818

対応責任者 落合 万智子

平成 28 年における相模原市の自殺者の状況

神奈川県警察本部から自殺統計原票に基づく集計データの提供を受け、集計・分析を行ったので、その結果を報告する。なお、自殺統計原票は平成 19 年から集計方法が一部変更され、自殺の原因・動機別の項目は複数回答となっている。また、提供されたデータは厚生労働省発表「地域における自殺の基礎資料（平成 28 年）」の相模原市分となっている。

- 1 自殺者数・自殺死亡率の推移
- 2 自殺者の年代別・男女別状況
- 3 自殺者の職業別状況
- 4 自殺の原因・動機
- 5 自殺未遂歴の状況

1 自殺者数・自殺死亡率の推移

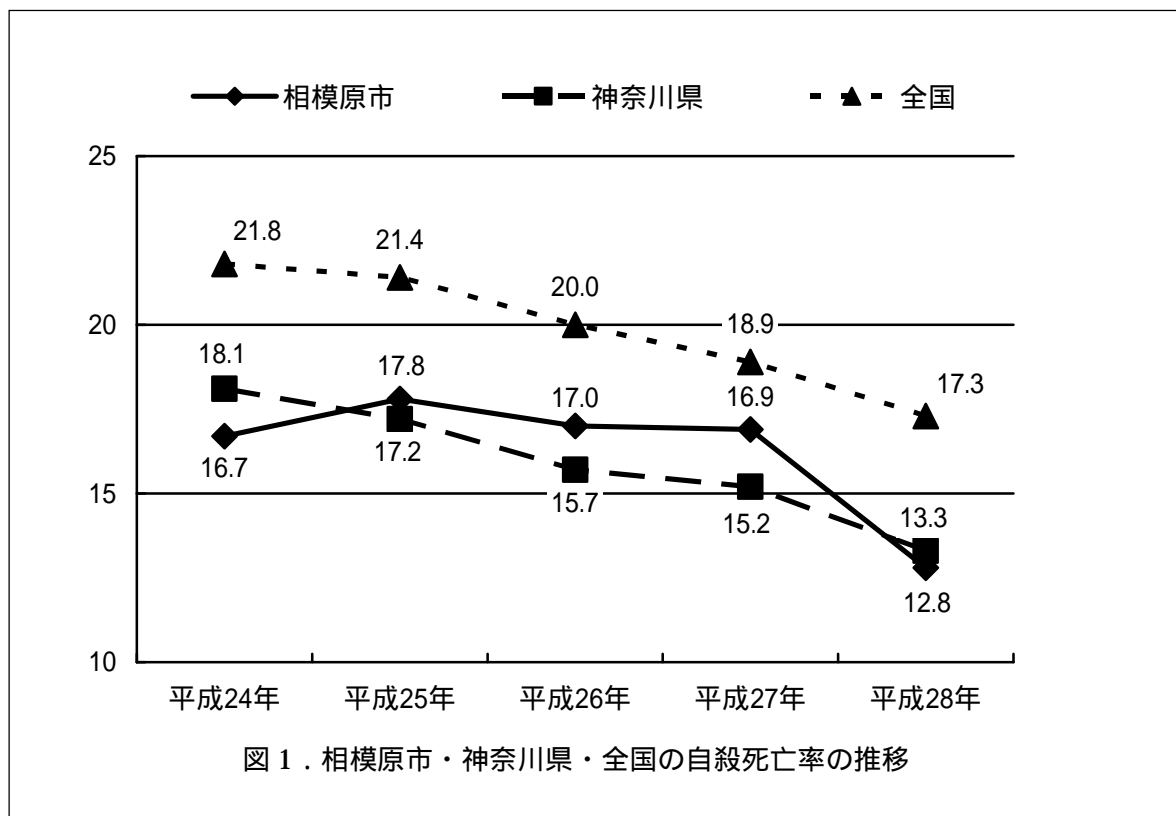
平成 28 年の相模原市内の自殺者数は、前年から 30 人減少し、92 人となっている。自殺死亡率は、前年から 4.1 ポイント減少しており、全国や神奈川県と比較しても減少している（表 1、図 1）。

表 1 . 自殺者数・自殺死亡率の推移

	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
相模原市自殺者数（人）	120	128	123	122	92
相模原市自殺死亡率（%）	16.7	17.8	17.0	16.9	12.8
神奈川県自殺者数（人）	1,644	1,558	1,422	1,382	1,213
神奈川県自殺死亡率（%）	18.1	17.2	15.7	15.2	13.3
全国自殺者数（人）	27,858	27,283	25,427	24,025	21,897
全国自殺死亡率（%）	21.8	21.4	20.0	18.9	17.3

自殺死亡率とは、10月1日の人口10万人当たりの自殺者数

全国の自殺者数及び自殺死亡率は、平成 29 年 3 月発表の厚生労働省資料から抜粋



2 自殺者の年代別・男女別状況

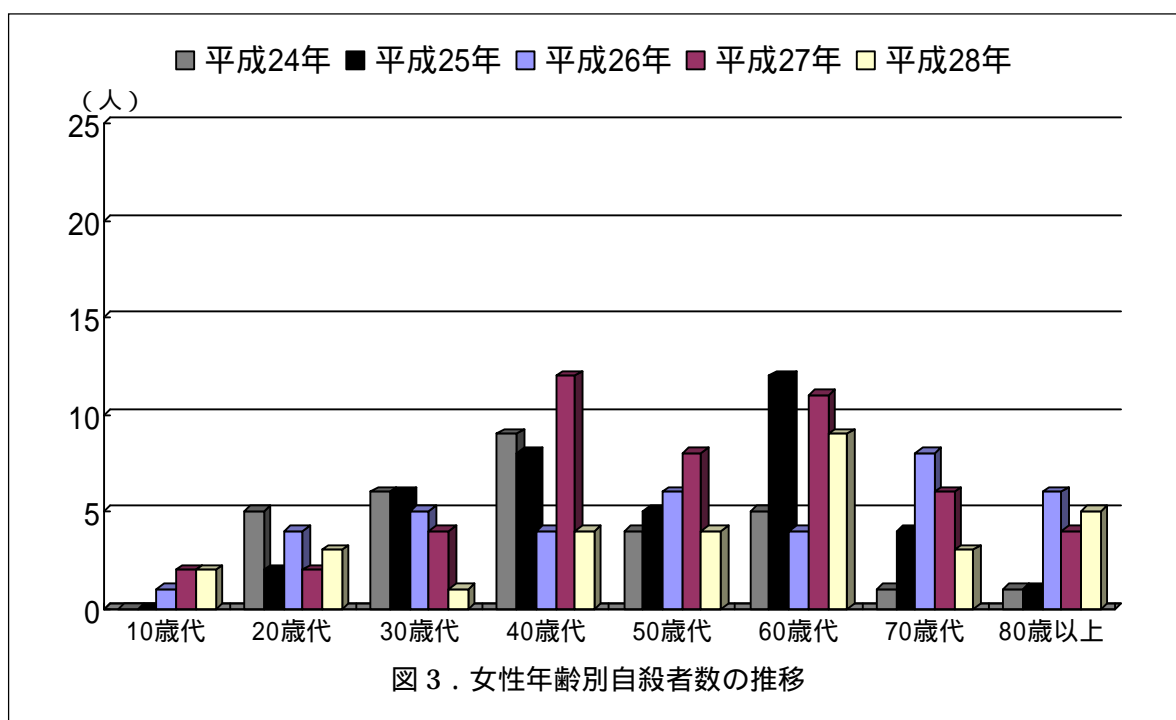
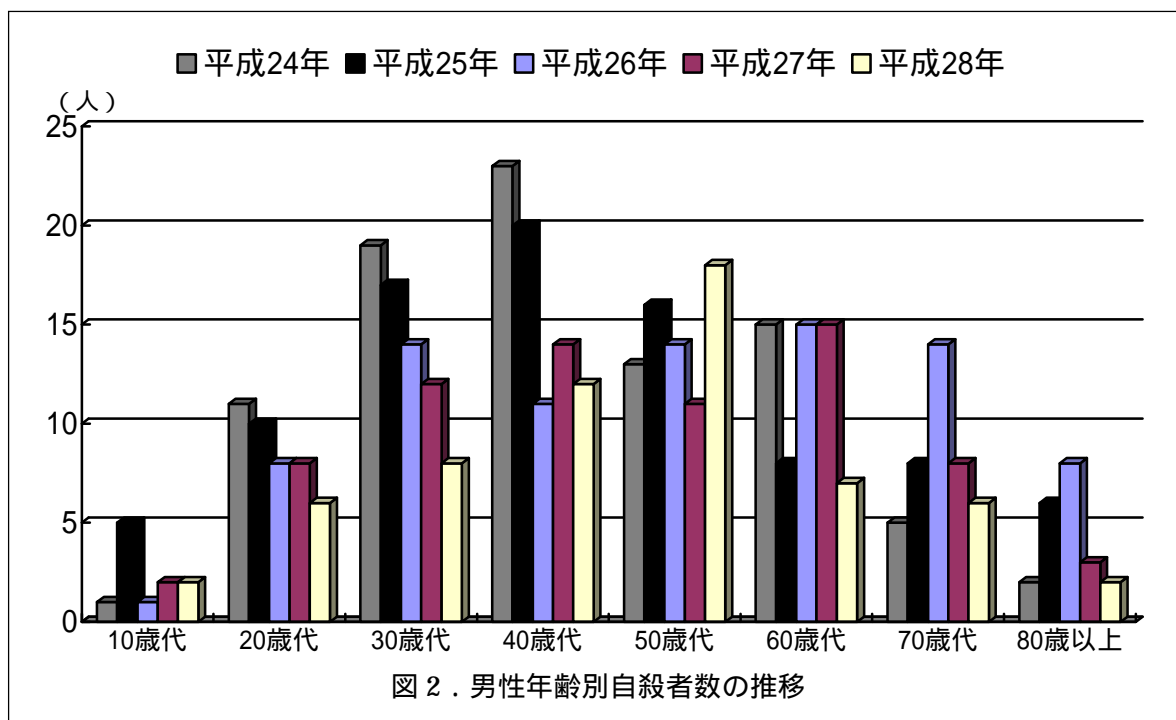
平成28年の年代別自殺者数は、50歳代が22人で全体の23.9%と最も多くなっている(表2)。男女別自殺者数の割合は、男性が66.3%を占めている(表3)。男性は50歳代が18人と最も多く、女性は60歳代が9人と最も多い(図2, 図3)。年代別男女別自殺者の割合は、20歳代から50歳代及び70歳代で男性が60%以上を占めている。女性においては、60歳代と80歳代で男性を上回っている(図4)。

表2. 年代別自殺者数と割合

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)	自殺者数	割合(%)
10~19歳	1	0.8	5	3.9	2	1.6	4	3.3	4	4.3
20~29歳	16	13.3	12	9.4	12	9.8	10	8.2	9	9.8
30~39歳	25	20.8	23	17.9	19	15.4	16	13.1	9	9.8
40~49歳	32	26.7	28	21.9	15	12.2	26	21.3	16	17.4
50~59歳	17	14.2	21	16.4	20	16.3	19	15.6	22	23.9
60~69歳	20	16.7	20	15.6	19	15.4	26	21.3	16	17.4
70~79歳	6	5.0	12	9.4	22	17.9	14	11.5	9	9.8
80歳以上	3	2.5	7	5.5	14	11.4	7	5.7	7	7.6
総計	120	100.0	128	100.0	123	100.0	122	100.0	92	100.0

表 3 . 男女別自殺者数と割合

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
男性	89	74.2	90	70.3	85	69.1	73	59.8	61	66.3
女性	31	25.8	38	29.7	38	30.9	49	40.2	31	33.7
総計	120	100.0	128	100.0	123	100.0	122	100.0	92	100.0



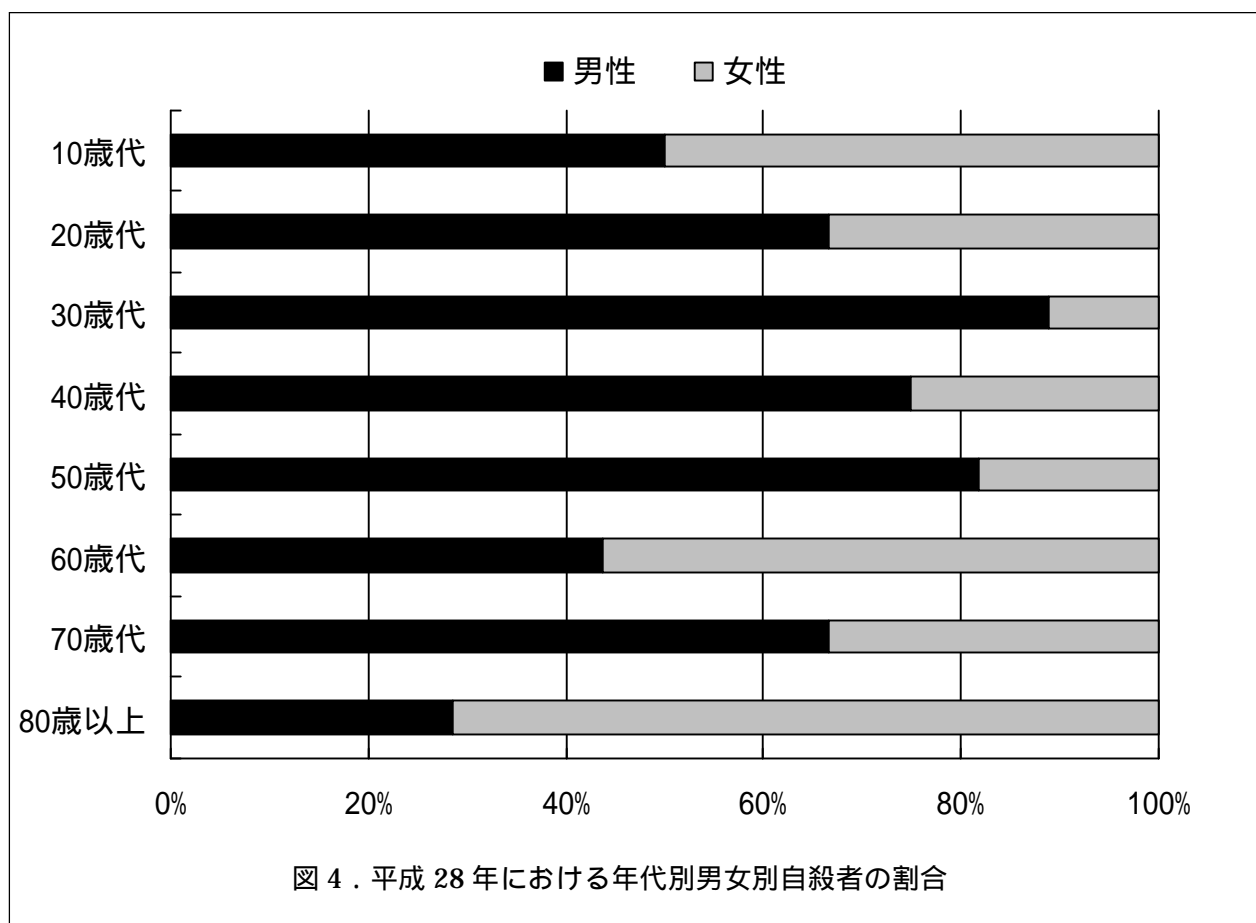


図4. 平成28年における年代別男女別自殺者の割合

3 自殺者の職業別状況

平成28年の自殺者の職業別状況は、無職者が56人で全体の60.9%を占めている(表4, 図5)。年代別職業の割合は、無職者を除くと、30歳代、50歳代で被雇用者・勤め人の割合が高くなっている(図6)。なお、無職者には学生、主婦、失業者、利子・配当・家賃等生活者、年金・雇用保険等生活者、浮浪者、その他無職者が含まれる。

表4. 職業別自殺者数と割合

	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年		平成28年	
	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
自営業者	10	8.3	8	6.2	8	6.5	6	4.9	6	6.5
被雇用者・勤め人	41	34.2	39	30.5	33	26.8	39	32.0	27	29.3
無職者	65	54.2	75	58.6	80	65.0	75	61.5	56	60.9
不詳	4	3.3	6	4.7	2	1.6	2	1.6	3	3.3
総計	120	100.0	128	100.0	123	100.0	122	100.0	92	100.0

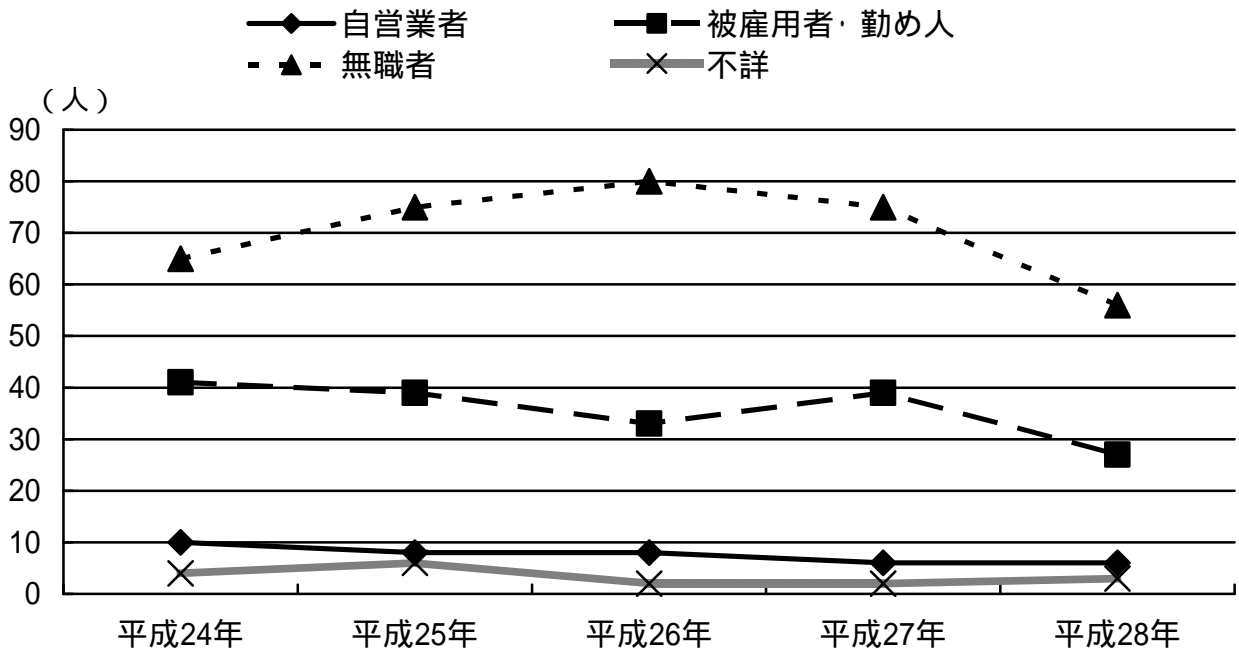


図5. 職業別自殺者数の推移

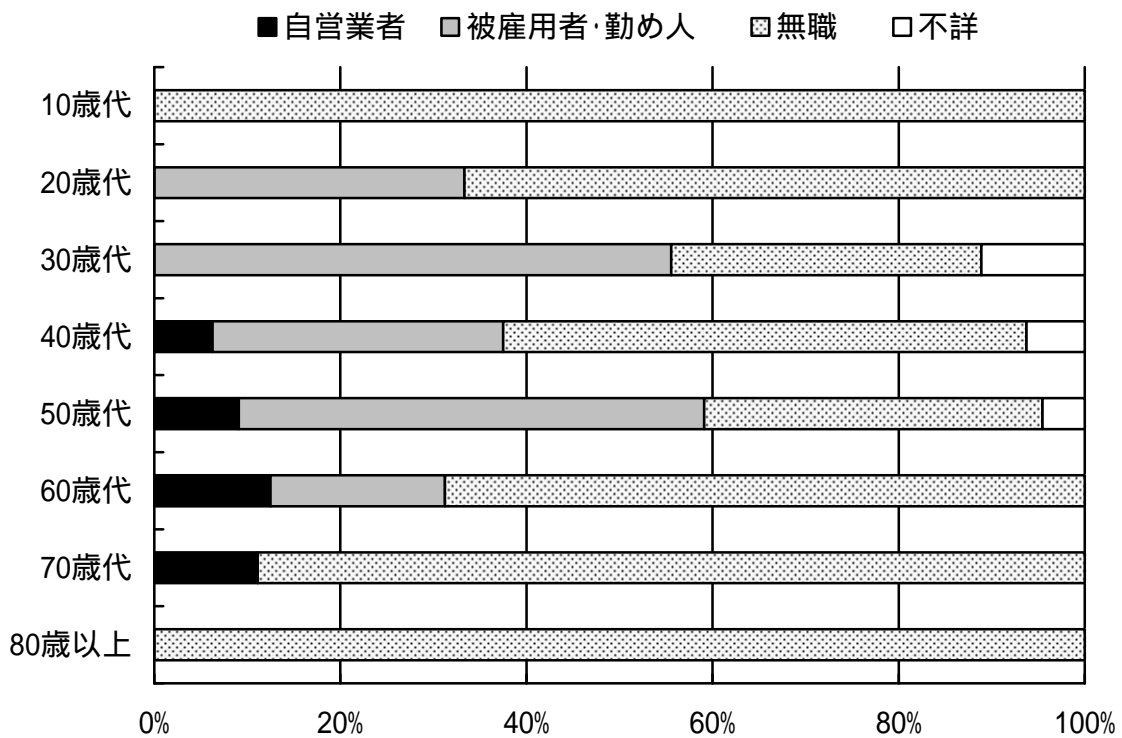


図6. 平成28年における年代別職業の割合

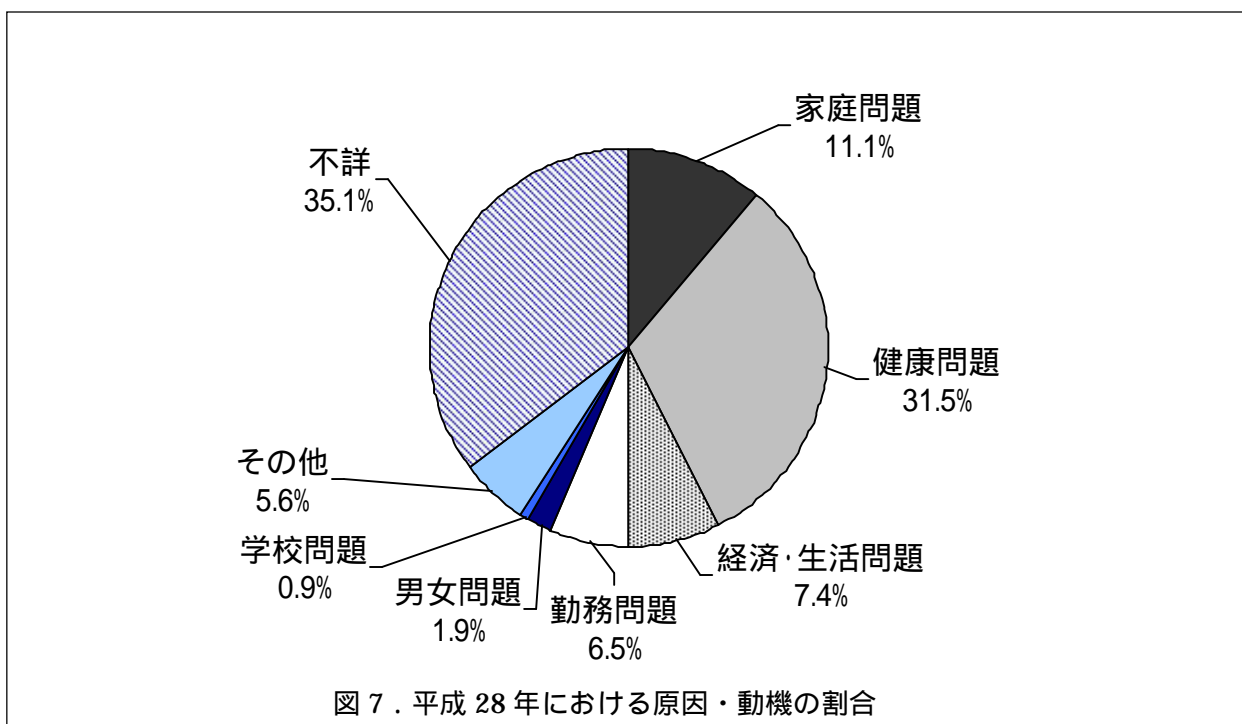
4 自殺の原因・動機

平成 28 年の原因・動機別の自殺者の割合は、「不詳」を除くと「健康問題」31.5%、「家庭問題」11.1%、「経済・生活問題」7.4%の順となっている（表 5，図 7，図 8）。年代別では、「不詳」を除くと、「健康問題」が 30 歳代と 50 歳代以外の全ての年代で第 1 位となっている（表 6）。職業別では、「不詳」を除くと、自営業者、被雇用者・勤め人、無職者いずれにおいても「健康問題」が第 1 位の割合を占めている（図 9）。無職者のうち、学生では「家庭問題」が、主婦、年金・雇用保険等生活者及びその他の無職者では「健康問題」が多く、失業者では原因・動機の全てが「経済・生活問題」であった（図 10）。原因・動機の判断材料としては、遺書が 35.1%を占めているが、自殺者の 40.4%が原因・動機の判断材料を残していない（表 7）。

表 5 . 原因・動機別自殺者数と割合

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)
家庭問題	21	14.1	20	12.3	12	8.1	13	8.3	12	11.1
健康問題	41	27.5	41	25.1	53	35.8	45	28.7	34	31.5
経済・生活問題	17	11.4	19	11.7	14	9.5	22	14.0	8	7.4
勤務問題	14	9.4	13	8.0	3	2.0	14	8.9	7	6.5
男女問題	7	4.7	3	1.8	3	2.0	2	1.3	2	1.9
学校問題	1	0.7	1	0.6	1	0.7	2	1.3	1	0.9
その他	7	4.7	12	7.4	6	4.1	9	5.7	6	5.6
不詳	41	27.5	54	33.1	56	37.8	50	31.8	38	35.1
総計	149	100.0	163	100.0	148	100.0	157	100.0	108	100.0

原因・動機は 3 つ以内の複数を計上することが可能であり、割合については計上数に基づき算出（母数割）



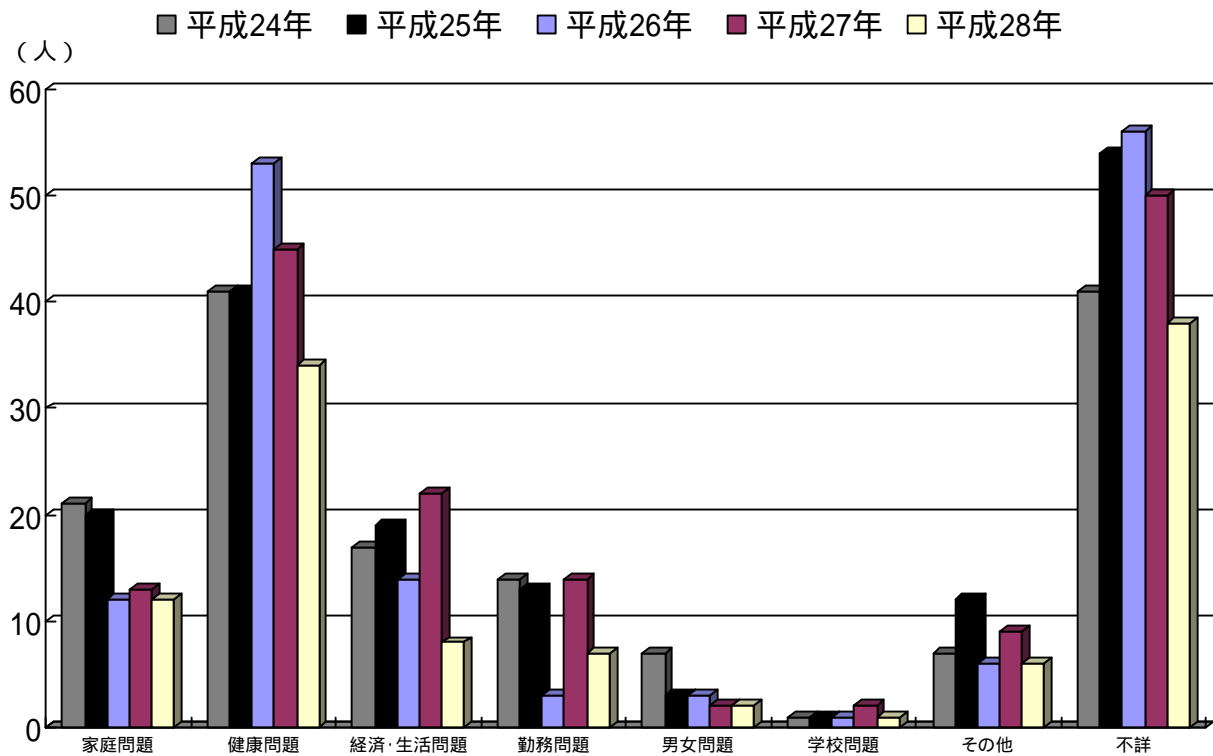


図 8 . 原因・動機別自殺者数の推移

表 6 . 平成 28 年における年代別の原因順位

	第 1 位		第 2 位		第 3 位	
	原因	割合(%)	原因	割合(%)	原因	割合(%)
20 歳代以下	健康問題	23.5	家庭問題	17.7	男女問題	11.8
30 歳代	勤務問題	33.3	健康問題	25.0	家庭問題	8.3
					経済・生活問題	
					その他	
40 歳代	健康問題	17.6	家庭問題	11.8		
50 歳代	経済・生活問題	26.9	健康問題	23.1	家庭問題	7.7
					勤務問題	
60 歳代	健康問題	52.6	家庭問題	15.8	その他	10.5
70 歳代	健康問題	50.0	その他	10.0		
80 歳以上	健康問題	42.9	家庭問題	14.3		
全年代	健康問題	31.5	家庭問題	11.1	経済・生活問題	7.4

順位は不詳を除く

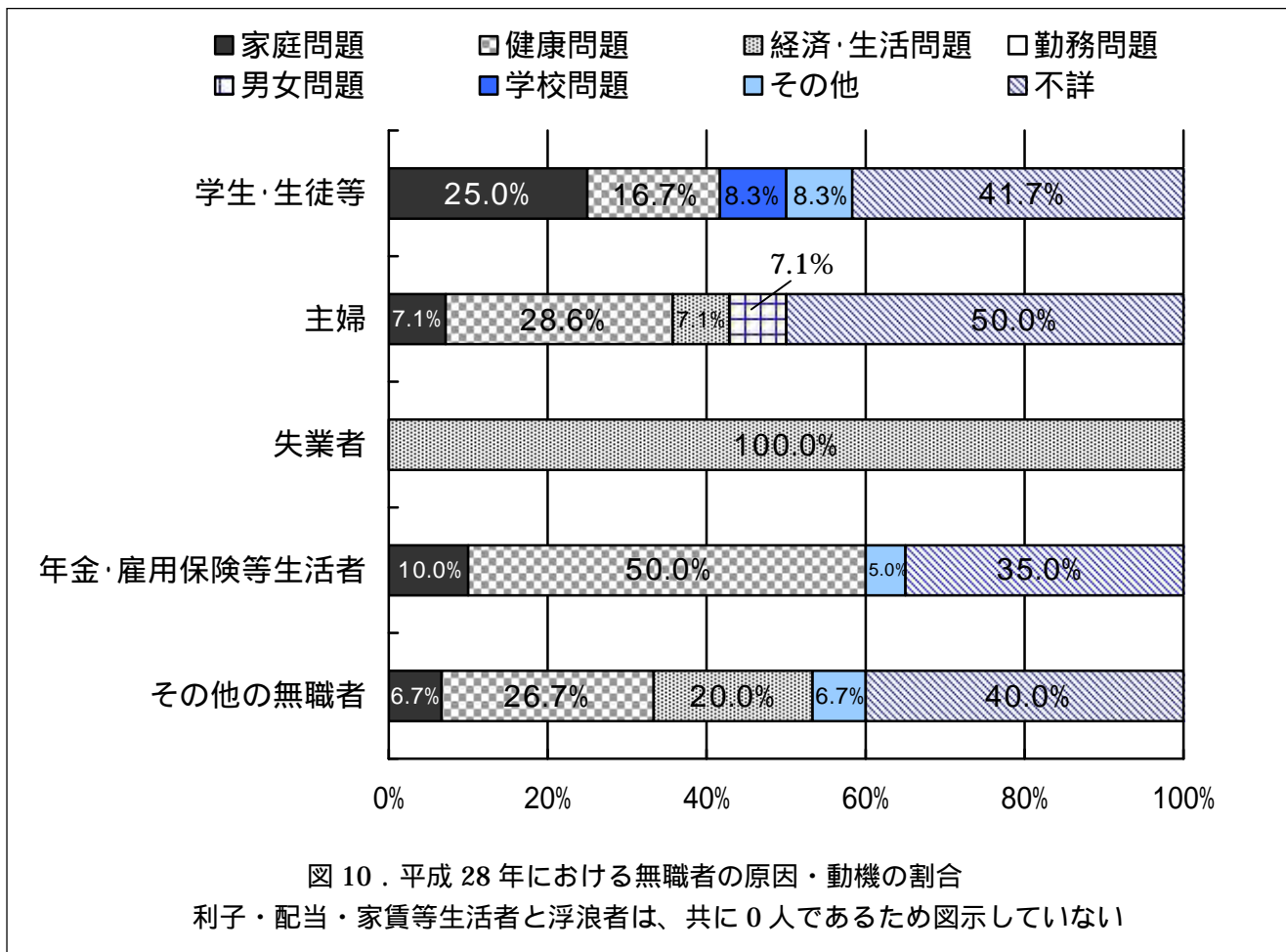
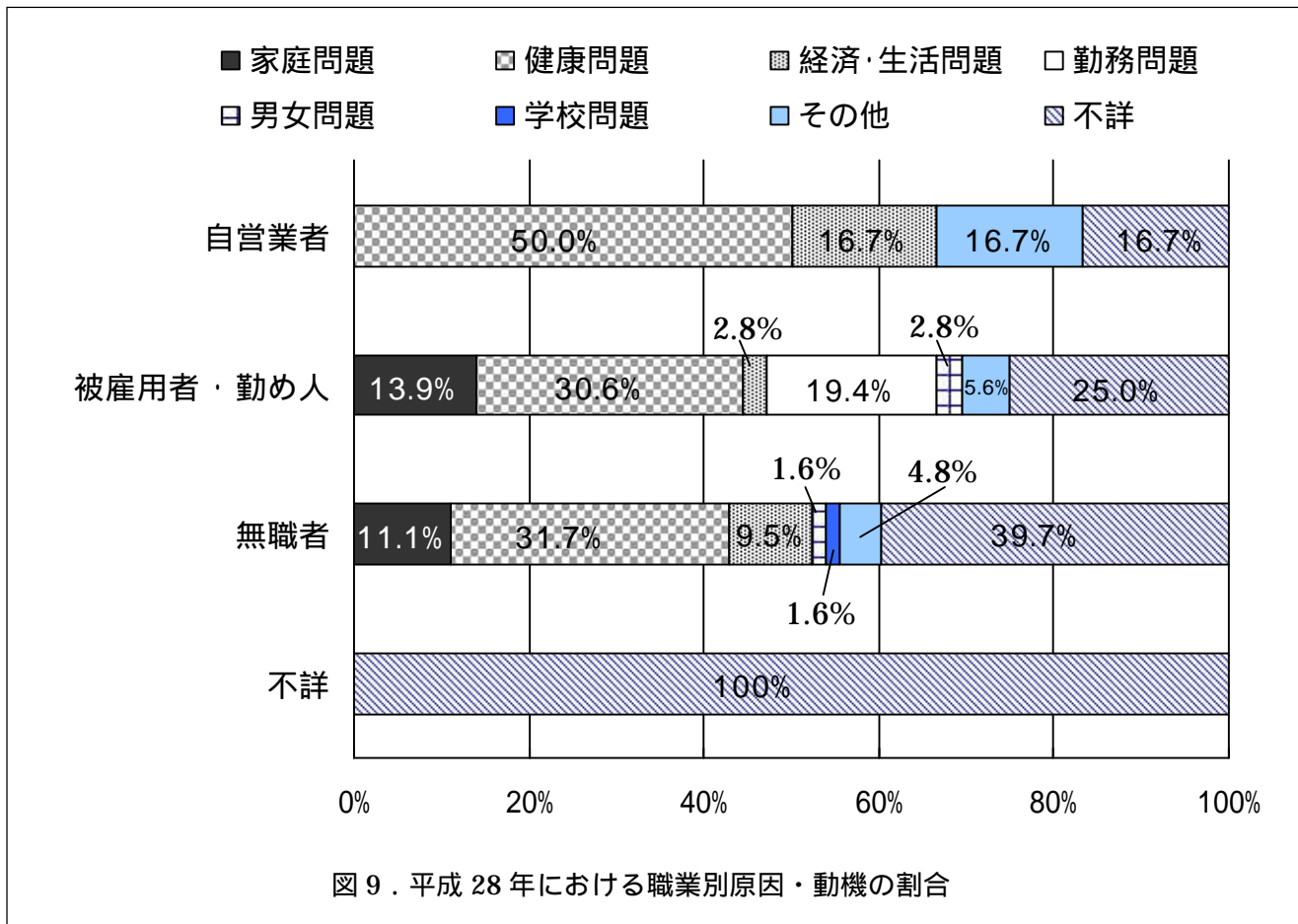


表 7 . 原因・動機の判断材料

	平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)	計上数	割合 (%)
遺書	55	43.7	47	35.6	47	37.3	43	33.9	33	35.1
自殺サイト・メール等書き込み	10	7.9	6	4.6	2	1.6	8	6.3	3	3.2
その他の生前の言動	20	15.9	25	18.9	21	16.7	26	20.5	20	21.3
該当なし	41	32.5	54	40.9	56	44.4	50	39.4	38	40.4
総計	126	100.0	132	100.0	126	100.0	127	100.0	94	100.0

原因・動機の判断材料は、複数を計上することが可能であり、割合については計上数に基づき算出(母数割)

5 自殺未遂歴の状況

平成 28 年の自殺者の 16.3%に自殺未遂歴があった。男性は 16.4%、女性は 16.1%であった(表 8)。

表 8 . 自殺未遂歴の状況

		平成 24 年		平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)	自殺者数	割合 (%)
未遂歴あり	男性	14	15.7	19	21.1	8	9.4	17	23.3	10	16.4
	女性	11	35.5	14	36.8	17	44.7	15	30.6	5	16.1
	総計	25	20.8	33	25.8	25	20.3	32	26.2	15	16.3
未遂歴なし	男性	48	53.9	50	55.6	57	67.1	47	64.4	39	63.9
	女性	16	51.6	18	47.4	18	47.4	29	59.2	21	67.7
	総計	64	53.4	68	53.1	75	61.0	76	62.3	60	65.2
不詳	男性	27	30.3	21	23.3	20	23.5	9	12.3	12	19.7
	女性	4	12.9	6	15.8	3	7.9	5	10.2	5	16.1
	総計	31	25.8	27	21.1	23	18.7	14	11.5	17	18.5